

街路樹

ねらいとまとめの整合性



特別支援教育～中学校でこそUDの授業を～

「平成26年度全国学力・学習状況調査結果を受けての指導改善資料」が、いわき市学力向上支援連絡協議会により、まとめられました。

小・中学校の国語、算数・数学において、さらに力を伸ばすためには、「まとめのある授業」「学習の見通しを持たせる」「振り返りの時間を確保する」などが、共通して必要であることが挙げられています。この3つは、「ねらいとまとめの整合性のある授業」につながります。

～ねらいとまとめの整合性のある授業にするための条件～

(1) 「教えたい」ことを「学びたい」ことに変える工夫がある

本時のめあてを知ったとき、子どもに「よし、今日はこれをやるぞ」と感じさせなければなりません。教師が「教えたい」ことを子どもが「学びたい」と感じ、主体的に取り組むようなめあてを考えましょう。

(2) 見通しを持つ場がある

子どもにめあてを把握させ、「授業で行き着こうとするところ」をはっきりと意識させたあと、「そこに行き着くためにはどのようなことをするのか」という見通しを持たせることが大切です。そして、既習事項をもとに考えさせるなど、「そこに行き着くためのやり方」が分かるような教師の働きかけが必要です。

(3) 振り返る場がある

「授業で行き着こうとするところ」にたどり着いたら、学習した内容を振り返らせましょう。振り返らせることで、子どもたちの間で思考過程を共有することができ、よりよいまとめを自分の言葉で考えることができるようになります。

「授業改善ハンドブック『新 授業の窓』授業をつくる16の視点」より

板書計画を作成すると、ねらいとまとめに整合性があるかどうか客観的に判断できます。せめて、毎時間の板書計画を作成し、授業に臨んでみましょう。



「中学校でこそユニバーサルデザイン(UD)の考え方が必要である。」

と、話すのは、愛知県西尾市立幡豆中学校 松崎利美校長です。

松崎校長は、同市立小学校校長時代、自校において「授業のユニバーサルデザイン化」を進め、「わかる」「できる」授業の工夫により、授業が楽しいと感じる児童が増え、教師にとっても楽しい授業になっていったと感じたそうです。

中学校へ赴任しての印象は、部活動の指導や生徒指導に熱心になりがちというものでした。もちろん、授業にも全力で取り組んではいるものの、講義形式が中心で、教師が発問し特定の生徒が答えるというパターンの授業が多かったそうです。「生徒指導や進路指導、部活動指導が大変で忙しいから、授業研究会なんてできない」というのではなく、だからこそ、毎日の授業に力を入れようと教師たちに働きかけていったそうです。

「中学校の場合、とかく教科論が重視されがちだが、それ以前に、どの子どもも『わかる』『できる』という授業に改善していくことが重要である。ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業がどの子どもにとっても『わかる』『できる』ものになると説明すると、『授業内容を低めていくことだ』という誤解を招いてしまうかもしれない。しかし、教科の論理や本質をつかませるという目標に向けて内容を低めることなく、その手法として焦点化や視覚化、共有化などを取り入れていくのが授業のユニバーサルデザインの考え方であり、中学校でも必要な視点である。」と述べられています。

週刊教育資料 No.1315 (2014.10.13)

「ユニバーサルデザインの視点で授業改善」

松崎校長は、先生方に毎日の授業に力を入れるよう指導するだけでなく、先生方の仕事を減らすことにも尽力されています。子どもにとって学びやすく居心地のよい学校をつくるためには、先生方にとっても居心地のよい学校をつくることだということを改めて感じさせられました。



研修講座のお知らせ & 研修感想紹介

○総合的な学習の時間担当研修②

日時：12月25日(木) 9:30～11:50(小学校)
13:30～16:10(中学校)

会場：体験型経済教育施設(Elem)

講師：公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本
理事・渉外担当 高木 正明

内容：「平成27年度教育課程編成に向けて」

対象者：総合的な学習の時間担当教員
希望者(教頭、教諭、常勤講師)



※「NetCommons」を使ったHP作成研修講座の感想紹介

「NetCommons」を使ったHPIは作成がしやすく、とてもありがたいものである。学校に戻り、共通理解を図り役立てていきたい。保護者や地域の方々により深くつながれるよう、規則を守りHP運営に励んでいきたいと思った。

これまで、他の方法でHPを作成しており、「NetCommons」への移行を考えていたところなので大変参考になりました。外部機器からログイン・HPの作成もできるということを確認でき、リアルタイムで更新可能であることを知ることができました。